

Nelson Mandela Memorial Lecture

*この講義は、昨年12月に95歳で亡くなったネルソン・マンデラ氏の偉業をたたえ、南アフリカ共和国政府が世界各地で展開している記念講演の一環です。

日 時:2014年11月6日(木) 13:00 - 14:10

場 所:アゴラ・グローバル(プロメテウス・ホール)

講演者:駐日南アフリカ共和国 Dr. Mohau N. PHEKO大使

参加費:無料 *事前申し込み不要 どなたでもご参加いただけます。
使用言語・英語(通訳なし)



ネルソン・マンデラ(1918年7月18日 - 2013年12月5日)

反アパルトヘイト運動への参加、27年間の獄中生活(1990年に釈放)、アパルトヘイト(人種隔離政策)の廃止(1991年)、ノーベル平和賞受賞(1993年)黒人初の大統領就任(1994年)、そして民族融和の政治と、彼の人生はそのすべてを南アフリカの政治に捧げられたといえます。しかし彼の挑戦は、南アフリカの国内問題にとどまるものではありませんでした。それは現代を生きる我々が真剣に取り組まなくてはならない挑戦であります。

Mohau N. PHEKO大使

1985年、インディアナ大学-パデュー大学インディアナポリス校(経済・一般教養学士)、1990年、ニューヨーク大学(看護学士)、1990年、ニューヨーク医科大学(国際保健学修士)、1994年、ニューヨーク大学プロフェッショナル学部(開発経済学修士)、2000年、ラ・サル大学(国際関係学博士)。多数の国連機関において開発援助プログラムのコンサルタントとして活動。2012年より駐日南アフリカ共和国特命全権大使



担当:総務企画課総務係 [_soumu-hisho@tufs.ac.jp](mailto:soumu-hisho@tufs.ac.jp)